

2018 年度事業報告

1. 言語力向上のための事業

(1) 制度・政策活動

① パンフレット作成ならびに「公共図書館プロジェクト」設置

10月、活字文化議員連盟(会長 細田博之衆議院議員)の「全国書誌情報の利活用に関する勉強会」における、公共図書館改革に関する提言を受け、パンフレット「私たちの図書館は、こう変わります。」を作成した。全国6か所の事例を掲載した内容で、全国の公共図書館、教育委員会などに配布した。



2019年2月、「全国書誌情報の利活用に関する勉強会」に設置されている実務者会議を発展的に「公共図書館プロジェクト」と名称替えし、引き続き調査研究を深めることとした。

② 活字文化議員連盟&子どもの未来を考える議員連盟の合同総会開催

活字文化議員連盟と子どもの未来を考える議員連盟は、6月11日、参議院議員会館で合同総会を開いた。「当面の活動方針」として、新聞、書籍・雑誌への軽減税率の適用、絵本文化推進2020の設立と絵本サミットの開催などについて、協同で取り組むことを決めた。議員、一般合わせて250名が参加。



③ 書籍・雑誌の軽減税率導入に関する勉強会

実務者会議を7回開催。出版界は12月の税制改正大綱に向け、自民党税調所属議員との面談も行った。平成31年税制改正大綱が12月14日に発表されたが、書籍・雑誌への軽減税率適用は実現せず、「対象品目については、書籍・雑誌等について引き続き検討する」とされた。

(2) 言語活動の基盤整備

言語活動推進フォーラム

「絵本の楽しさ新発見！ワクワクキッズライブ」

(主催:国立青少年教育振興機構、主管:文字・活字文化推進機構)

親子が身近に親しむことができる「絵本」と「体験活動」のコラボレーション。落語や絵本作家の講演、音楽ライブ、読み語り、とびだす絵本づくりなど、全国4会場で開催。

▼ 8月18日 長崎市・長崎ブリックホール



こども寄席では、三笑亭夢丸さんの落語と鏡味味千代さんの江戸太神楽の公演。児童書作家・原ゆたかさんのおはなし会やとびだす絵本づくり、絵本専門士による読み語りなどを実施し、近隣の親子など約450名が来場した。

▼ 9月24日 秋田市・さきがけホール

林家木久蔵さんの落語、絵本作家・きむらゆういちさんのおはなし会、ケロポンズによる絵本ライブ、とびだす絵本づくり、絵本専門士による読み語りなどを実施し、親子約350名が来場した。



▼ 2019年1月27日 東京・TKPガーデンシティ御茶ノ水

女優の室井滋さんを座長とする「しげちゃん一座」の公演。メンバーの絵本作家・長谷川義史さん、大友剛さん、サクソ奏者・岡淳さんによる楽しい歌や朗読が披露された。嵐田康平さん講師の「とびだす絵本づくり」体験も同時開催。親子約700名が来場した。



▼ 3月9日 京都市・烏丸コンベンションホール

林家木久蔵さんの落語、あそび歌作家・鈴木翼さんのライブ、絵本作家・宮西達也さんによる講演、「とびだす絵本づくり」体験を開催した。また、日本漢字能力検定協会の協力で、ワークショップ「漢字をさがそう」や絵本専門士による読み語りも実施した。近隣の親子約500名が来場した。



2. 人材育成・能力開発のための事業

(1) 読書推進のための活動

① 読書の魅力を伝える講座(主催:国立青少年教育振興機構、主管:文字・活字文化推進機構)

9月15日～17日、全国から高校生37名を東京・代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターに招待。本のエキスパートたちの講義や対話、見学、ワークショップを通して新たな読書の楽しさ、重要性を体感する3日間の講座を開催。情報発信力を身につけた高校生たちは「読書の伝道師(エヴァンジェリスト)」を目指した。

東大教授・酒井邦嘉さんは、科学的見地から「読書は脳を創る」をテーマに講演。読書を通して「想像力」の高まりや自分の言葉で「考える力」が自然と身につく、それに伴って脳が変化、成長するという、「脳を創る」ことの意味について語っていただいた。

直木賞作家・朝井リョウさんとの対話会では、事前募集した質問への回答やご自身のこと、作品のこと、読書のことなどについて語っていただいた。



学者芸人・サンキュータツオさん扮する社長との「読書推進プロジェクト会議」も開催。誰にどんな方法で読書の魅力を伝えるかを各グループで討議し、それぞれ見事な企画をプレゼンテーションした。

② シンポジウム「読書好きへの扉」(共催:日本経済新聞社)

10月10日、大手町の日経ビル・カンファレンスルームにて開催。今年のテーマは、「読書好きへの扉」。第一部は国際アンデルセン賞を受賞された、角野栄子さんによる基調講演、「キキの魔法～魔女の宅急便と私」。第二部のパネル討論は「読書の喜び 出会い・再会」と題して、東京理科大学前学長の藤嶋昭氏、翻訳家のさくまゆみこ氏、ローソン社長の竹増貞信氏に、子どもたちに読書の喜びを伝えるヒントをそれぞれの経験から語っていただいた。



④ 「こども本の森 中之島」設立記念連続講演会

第1回は、6月24日、大阪市中央公会堂で講師に衆議院議員の小泉進次郎さんを迎えて開催。「本は、ともだち。本は、旅。」と題し、テンポある語り口で、ご自身の体験を交えながら読書の魅力を語っていただいた。小中学生ら約1,000人が参加した。第2回は、11月11日、京都大学総長の山極壽一さんを講師に、「ぼくはこうしてゴリラになった」と題して講演いただいた。

(2) 言語活動・読書推進リーダーの育成事業

① 朗読指導者養成講座(第4期 2018.4~2019.3)

フリーアナウンサーの山根基世さんを講師に、「朗読指導者養成講座」を開講。朗読を通して地域の人びとをつなぎ、子どもの言葉を育てる活動の核になる朗読指導者を育てることを目的に、4月より2クラス月1回、全12回開講するもので、各クラス30名が受講。今期は第1期修了生の石井庸子さん、進藤晶子さんも講師として加わった。

3月2、3日には、東京・神保町の出版クラブで朗読発表会を開催し、受講者たちの成果を披露した。同日、修了式も行い、58名が修了証を手にした。



② 絵本文化の振興と人材ネットワークの形成

NPO法人「絵本文化推進協会」が、引き続き、絵本専門士、朗読指導者の活動をバックアップした。

3. 情報提供・広報活動のための事業

(1) 広報活動

① 会報17号~19号を発刊し、評議員、役員、会員など関係者へ配布した。

② 高校生書評合戦(ビブリオバトル)東京都大会(共催:東京都教育庁)

9月30日、都立戸山高校で1、2回戦が行われた。都内の国・公立・私立の高校生バトラー299名が集い、16のチャンプ本が決まった。また、講演会には、直木賞作家の島本理生さんが登壇し、自身の高校時代や作家生活などについて語っていただいた。

10月28日、都庁で準決勝、決勝が行われた。チャンプ本には『54字の物語』、準チャンプ本には『チーズはどこへ消えた?』が選ばれ2019年1月20日開催の全国大会に出場した。

(2) JAPAN/MARC頒布活動

国立国会図書館の書誌データ「JAPAN/MARC」「JM-BISC」を頒布。公立図書館、一般企業など15施設・法人与契約した。